

# ゆで豆用落花生「おおまさり」の育成

～甘くて、やわらかい ゆで豆向きのジャンボ落花生～

「おおまさり」は、極めて大粒の「ゆで豆」用の落花生です。平成5年に「ナカテユタカ」を母親、「ジェンキンスジャンボ」を父親として交配し、選抜を進め、平成22年に品種登録されました。

ゆで豆にすると甘くて、やわらかく、独特な風味があります。生育は旺盛で、ゆで豆用の収穫に最適な時期は花が咲いてから85日後です。

## 1 品種の特徴

- (1) 「おおまさり」は極めて大粒で、国内で栽培されている他の品種に比べて、その莢の重さはおおよそ2倍あります。ゆで豆にすると、甘くて、やわらかく、独特な風味があり、レトルトの商品としても販売されています。



おおまさり    ナカテユタカ    郷の香



レトルト商品

- (2) 晩生の特性があり、生育は旺盛で、他の品種より株は大きくなり、横に広がります。

「おおまさり」の株の様子



## 2 普及の状況

印旛、千葉、海匝地域を中心に広く栽培されており、平成29年度の栽培面積は86haです。

## 3 問い合わせ先 千葉県農林総合研究センター

落花生研究室 043-444-0676

## 4 掲載年月 平成30年1月（平成31年3月更新）